



あかまつ

学校教育目標
深く考える子ども
明るく思いやりのある子ども
丈夫でたくましい子ども

重点教育目標 「学び合い」「支え合い」「笑い合える」子どもの育成
～「安全 安心 安定」のある学校をめざして～

「支え合い」の姿 フェアプレイ

校長 金澤 力

夏至は一年のうちで昼の時間が最も長い日。今年は6月21日でしたので、すでに昼の時間の長さは少しずつ短くなるのですが、夏の暑さはこれからが本番です。外での活動や人が集まるイベントなどへ出かける機会が増え、ここ数年の夏よりも人の動きが活発になります。新型コロナ感染症を含む様々な感染症への日常的な予防策が大切ですね。

フェアプレイ発表会が終了しました。どの実施日も天候に大きな支障がなく、一生懸命発表に取り組む子どもたちの姿を保護者、地域の皆様にご覧いただけたことが何よりです。多くの励ましのご声援やねぎらいの拍手を送ってください、ありがとうございました。

5・6年生のフェアプレイ発表会の開会式で「フェアプレイには2つの面がある」ことを話しました。一つ目は「行動」。これは目に見える部分です。二つ目は、目には見えない「心」。この2つの面は切り離すことができません。つまり、「行動」と「心」が整って、はじめてフェアプレイが本物になるのではないでしょうか。何年か前には、ACジャパンのコマーシャルで、こんな言葉が流れていきました。

「こころ」はだれにも見えないけれど 「こころづかい」は見える

「思い」は見えないけれど 「思いやり」はだれにでも見える

宮澤 章二 「行為の意味」より

本校では「支え合い」を重点教育目標に取り上げています。子どもたちは、友達や家族、学校の教員、地域の方など、多くの人と人の関わりの中で生活しています。自分や相手の立場を尊重すること、お互いが気持ちよく過ごせるよう気を配ることが「支え合い」につながっていきます。まずは、目に見える日常の挨拶から身に付けさせたいものです。



学校中庭の学級菜園で咲いたジャガイモの花